

おうち練習サポートします!

第3回

生徒にあわせたアイデアと工夫がカギ 聴音用おうち練習CDの効果

ピアノ講師：躰井 野衣

前回まで、CD-2eで作ったおうち練習用CDをレッスンでどのように活用したか、その事例を紹介してきました。曲選び、部分練習、片手練習、発表会の記録——。ケースバイケースでさまざまな活用法があることがわかりただけではないでしょうか。最終回となる今回も、私の体験談をご紹介します。レッスンの参考にいただければうれしいです!

聴音のレッスンにはCDが効果大!

音楽高校受験をめざすCちゃんは、時間が足りない瀬戸際の中学3年生。音楽以外の科目も勉強しなければならないので、聴音は便利な教材を使おうと市販のものを探したのですが、お値段が高いわりに曲数が少ないものしかありません。そこで、CD-2eで4小節課題をたくさん録音した聴音の宿題CDを制作。Cちゃんに「毎日1~2曲でいいから聴いてね」と渡したところ、一週間後のレッスンではミスがぐっと減り、細かい音符が採れるようになりました。効果絶大!

私の場合、ソルフェージュのレッスンは小学校低学年から多くの生徒に取り入れています。でも現実には、生徒同士のレベルが違いすぎてグループレッスンができなかったり、時間が足りなくなって聴音まで手が回らないことしばしば。生徒たちがCDで聴音のおうち練習をしてくると、これは大きなメリットです。

客観的に聴くことの大切さ

バッハやシューマンなど、他声部をよく聴いてほしい曲をレッスンするときも、おうち練習CDがパワーを発揮します。

例えば3声(ソプラノ、アルト、バス)の曲の場合……。

- ① 2声部を録音したCDにあわせて、残りの1声部を歌うor弾く(ソプラノ、アルトで3通り)
- ② 1声部を録音したCDにあわせて、残りの2声部を弾いてもらう(3通り)
ほかの1声を弾き、残りの1声を歌ってもらう(6通り)

これをきちんとやると、本当に各声部がきれいに聴こえるようになるのですが、1人できちんと歌って練習してくる子はほとんどいません。

小学4年生のYくんも、CDを使ったおうち練習でグンと伸びた一人です。塾にも通い始め多忙な彼。おうち練習の内容がどんどん薄くなっていくのを何とかせねばと、他声部をよく聴くためのCDを渡したところ、左手が歌えるようになったのです。塾の勉強も大変だったのに、Yくん、よくがんばった!

「自分の音をよく聴く」ことに、CD-2eが想像以上の助けになったこともあります。

70代のSさんは、とにかく指を動かすことに夢中。乱暴なタッチで弾いてしまうので、音が割れてしまいます。ある日、Sさんの演奏をCD-2eで録音し、その場で聴いていただきました。初めて自分の演奏を客観的に聴いたSさんは、音の割れに気がつき、次からはタッチに気をつけて弾くようになったのです。その音の変わりように、Sさんご本人もそうですが私もびっくり!自分の演奏を聴くことの大事さを改めて実感した出来事でもありました。



SD/CD レコーダー CD-2e

製品の詳細については
ローランド・ホームページをご覧ください。
<http://www.roland.co.jp/>

CD-2eに出会う前は、もっぱらMDを使っていた私。ところが、ラジカセ感覚で録音・再生ができ、CDにも保存できるCD-2eを使い始めたら、「こりゃ〜便利!」とばかりに毎日のようにCDを作っては生徒に渡しています。手軽さはもちろん、音質がいいのもポイントです。

また、ほとんどのメーカーがポータブルMDプレーヤーの生産から撤退している事実を、最近になって知りました。録音媒体が次々と移り変わっていく時代、ピアノを教える身としては、新しいものも柔軟にレッスンに取り入れていくことも必要です。……とかナンとか言いながら、CD-2eは操作もカンタンだからよかったけど、説明書を読んでも意味不明な難敵が現れたらと考えると……嗚呼、おそろしい(苦笑)。講師も日々勉強ですね。お互いがんばりましょう!!



プロフィール

躰井 野衣 (つつい やえ)

国立音楽大学ピアノ教育専修を主席で卒業。海外研修奨学金授与。岡本賞受賞。社団法人全日本ピアノ指導者協会に本部スタッフ勤務後、ヤマハミュージックストア荒井個人講師を経て、現在Pスタジオ音楽教室講師他、各地出張レッスン、伴奏を中心に活動。これまでに、ピアノを芝治子、江崎光世、近藤伸子、小田野慶子の各氏に師事。声楽を清水和子氏に師事。カナダモントリオールミュージックキャンプにてPatrice Lare、Victoria Kasutoより、公開レッスンにてK. シルデ、K. ヘルヴィッヒ、トゥーシャ、E. イリーナ・イワノワの各氏よりレッスンを受ける。